

失敗してゐる奴が、多数の代議員の前で痛いとこの質問を出される様な事かあつた場合、そんなくだらない問題はよせなと云つて、野次つたり、發言を妨ごしたりするのは失敗してゐる奴らにとつてはむしろ、當然だらう。然しながら其れをそのままにして置いたならば、更らにそうした失敗及び醜態をさらけ出す事は總同盟の面目に關すると云つて隠して居ると云ふ事では何で我々労働者の幸福は得られようか。總同盟は日本全体の労働者のものでなければならぬのだ。且つて或る地方の、純眞であり眞面目である一組合は、東京の事情を視察せんとした、然し乍ら甘く立廻つて居る幹部の樂屋は、とうてい見透しつくされないので、却つて反對に共產主義者の陰謀があるとか、總同盟を攪亂するものとか、總同盟の危機だとか云つて、彼ら幹部の都合のいい様にごまかされてまふのだつた。然し聰なる諸君等は、決して永久に彼らの手に乗るが如き事はないであらうが彼らは上手だ、それが爲めにのみ苦心してゐるのだから、諸君の純であり、正直であればあるほど一時彼等幹部の手に乗せられ易い。彼らは彼らの樂屋を見透される様なへまはやらなかつた。處が今同、あの大會において措氣もなくそのからくりの樂屋を曝露してしまつた。その樂屋の醜惡なる鳥敢圖を示せば、大會に於てその樂屋をあばかれることを恐れ責任を明らかにならしむる席に着かず、不劣なる野次を飛ばし、代議員の發言を妨害し加ふるに或る執行委員の如き、暴力的な行動を以て代議員に迫つた事實もあるが如斯の如きは如何に彼らが横暴であるか、いかに彼らの精神が官僚化してあるかか解るであらう。彼らは自己の椅子を守らんが爲めに死物狂ひであつた。所謂陰謀策を他人總同盟内部においても、既に陰謀策として定評のある或る人の力を借りて情實を用

の目につく程、露骨に行つたではないか。以上の如く執行委員の無恥横暴に加ふるに、大會當日議長の横暴振りについて我々は述べなければならぬ。

倒へ満場の代議員に依つて推薦せられたとしても大會に責任を負ふべき等の執行委員の一人たる内田藤七君が、喜び勇んで得意満面として議長に着きたるが如きは又、あの混亂の動機ともなつた。

執行委員の無能と失敗とを隠蔽せんが爲めには、勢ひ偏端なる處置を採らざるを得なかつたらう、又勝手に發言して、組合の意志を代表する處の代議員と喧嘩せざるを得なかつたらう。

『何云つてやがるんだいッ』『馬鹿野郎ッ』『即決否決』と云つて賛否が明らかならない内にギャベルを力まかせに振つた如きは、この事實を立證するものである。

如斯く議長の横暴振りは、つるりにつるり代議員席より盛んに議長に對する非難の聲が上り、傍聴席よりも議長に對する罵聲が再三あがり、討論も何も聽へない程になつた。然るに關東印刷労働組合案の『組織圖解及び各種部門事業説明書』作成發行の件が議場の審議にはいり、前々より非難と罵聲に極度にのぼせ切り、うたへ切つた議長は屢々失言を發するやら、實に見苦しい態度を示し、且つ代議員に對して發言を許すに不公平を極め討論を打ち切り原案否決となるや此の議長の横暴と無能にあらへ兼ねたる鐵工の一代議員は議長の更迭を要求した。處が議長は自己の一身上の問題に關する事として、本来なれば議長は當然他に議長席を譲るべきものなるにも係らず、却つて自己一身に關するの故にアワテウロタエ末だ勸議の成立も議場に計らず、ただちに『只今議長の不信任案が出ましたが賛成の方は舉手を希ひます』と勸議の成立も